

【モルック大会】

—ルールブック—

○モルックとは

モルックとは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なキイッカ(kyykkä)というゲームを元に1996年に開発されたスポーツです。

○道具

【モルック】



【スキットル】

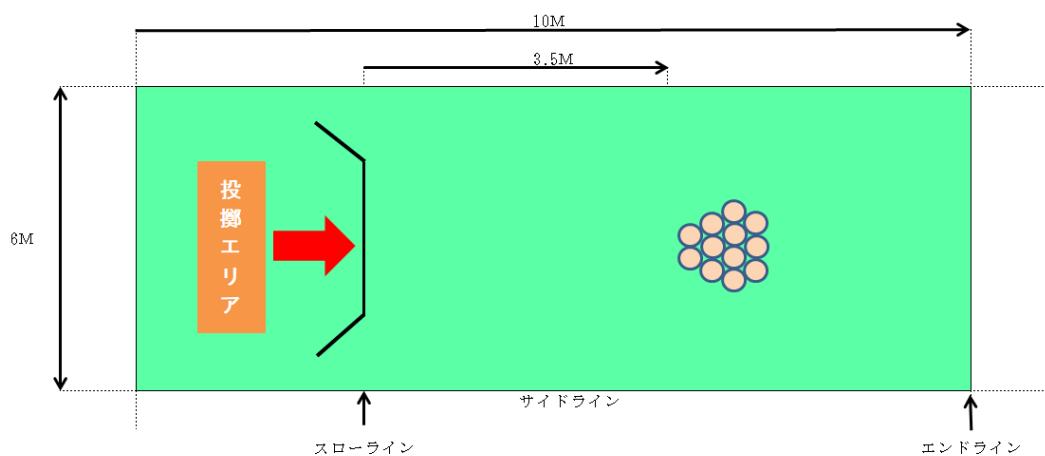


【モルッカーリ】



○試合の流れ

- ・投げ方は下投げのみ。
- ・コートは縦10m×横6m以上。
- ・モルッカーリから3.5mの位置にスキットルを配置。
- ・1チーム2~4人、順番かつ交互に投げる。
- ・3チームの投げる順番はジャンケンで決める。
- ・順番にモルックを投げ、先に50点ピッタリにしたチームが勝ち。(1ゲーム終了)
- ・上記の1ゲームを2回行いトータルの点数を競います。



ルール

- ① モルッカーリから 3.5 メートルの距離にスキットルを並べる。初期配置は下の図のように左側が奇数、右側が偶数になるようにくっつけて並べる。



- ② モルッカーリの内側からモルック棒を投げて、スキットルを倒す。1 本しか倒れなかった場合は、「**倒れたスキットルに書かれている数字=点数**」となる。
複数本のスキットルが倒れた場合は、「**倒れた本数=点数**」となる。
万が一投擲後、足がモルッカーリから前に出た場合はその投擲の点数は0とします。

【1 本倒した場合】



《上の場合は 11 点》

【複数本倒した場合】



《上の場合は 4 点》

- ③ スキットルを倒れた地点でそのまま立て、次のプレイヤーの順番になりゲームは続行となる。
これを3チームで順番に繰り返し、50点ぴったりを目指す。(超えたら25点に減点され、
ゲームは継続される)

※試合時間が終了した時点で 50 点に近いチームの勝ち(投擲回数は同じにする)

- ④ スキットルが完全に倒れていない(ほかのスキットルと重なって地面についていない)場合は、そのスキットルは得点にカウントしない。

○注意点

- ・モルックは投げたプレイヤーが次のプレイヤーに渡す。
- ・3 回連続スキットルを倒せず、失投した場合 0 点と記録され、そのゲームのみ失格となる。
- ・スキットルがコートから出た場合は、元の位置から真横に移動させ、コート内へ戻す。

- ・モルッカリの踏み越え防止のため、投擲後は1歩下がって後ろもしくは横から退く。
- ・モルッカリの踏み越えは、投擲ミス(0点)と判断される。
- ・セットの途中でのプレイヤーおよび投擲順の変更は認められない